

落ちれば同じ谷川の水

落ちれば同じ谷川の水（ことわざ辞典より）（読み）おちればおなじたにがわのみず
（意味）出発点は違っても、行きつくところは同じであること。また、人間に身分や貧富の差がいろいろあっても皆同じ土になること。
（次号）教うるは学ぶの半ば
（注）線質とリズム感をきちんと学んで下さい。

中級（準五級以上）

川船やひばり鳴き

※用具（つけペン）

たつ右ひだり



左の初級課題では学びの基本として、楷書がきちんと書けるように癖のない字を学んで下さい。
その後、準五級になりましたら右のやや行書体を学びます。行書や連綿体には興味がなく、楷書できちんと字が書けるようになりたいと希望する方は、楷書体で書いてもよいです。但し用紙は、右の「ばり」「たつ」「ひだり」は、連綿体で書いてもよいです。

初級（六級まで）

※用具（つけペン）

た	川
つ	船
右	や
ひ	ひ
だ	ば
り	り
	鳴
	き

（原文）川船やひばり鳴きたつ右ひだり（高桑蘭更）
（意味）春の一日、川船で行くと、両岸から雲雀がしきりに鳴き立つ、の意。
（次号）人恋し灯としごろをさくらちる（加舎白雄）